

第360号

2019年
3月25日

月1回25日発行

げんぱつ

原発住民運動情報

発行所 原発問題住民運動全国連絡センター
発行人 中村敏夫/1部300円 年間3,000円
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
MMビルII 402
TEL 03-5215-0577 FAX 03-5215-0578
郵便振替 00150-7-355202
ホームページ <http://genpatu.com/index.html>
メール=genpatu-c@bizimo.jp

福島を忘れない 3・9全国集会に千三百人

「原発ゼロを実現する政治に」

「福島を忘れない 3・9全国集会」市民と野党の共同で原発ゼロへは三月九日、東京の上野恩賜公園野外ステージで開かれ、千三百人（主催者発表）が参加した。原発をなくす全国連絡会が主催した。開会あいさつで小田川義和全労連議長は、原発固執は亡国政治と批判。福島切り捨てや国と東電の責任逃れを許さず、「原発ゼロ基本法案制定を求める運動を広げ、原発ゼ

ロを実現しよう」と訴えた。山崎拓、岩淵友の両日本共産党参院議員が激励あいさつ。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟幹事の三上元氏（脱原発をめざす首長会議世話人、元湖西市長）がメインスピーチ。村上達也元東海村村長もスピーチ。首都圏反原発連合のミサオ・レンドウルフさんと原発1000万人アクションの井上年弘さんが連帯あいさつ。

バラになり、祖父を避難先で亡くす。福島を忘れないと長野県の大学で学ぶ。しかし、何かしなければと福島に戻り、原発なくす運動をしている。「原発をなくすことが私たちの苦悩を取り払う一歩になる」と被災の経験をつつた。茨城県、大阪府からの代表が「各地の発言」。最後に、福島県からの参加者が壇上に入り（写真参照）、「集会アピール」を提案・採択。集会後、参加者は、会場→天神下→上野御徒町→御徒町駅→台東四丁目（きらぼし銀行御徒町支店左折）→西町公園までパレードを行い、「原発いらぬ！」、「原発ゼロ基本法案の審議を行え！」などと、ビルの人びとや通行人たちに訴えた。



3・11集会に参加した福島県の代表団



幕断横の「特別発言」の松本友子さん（被災地檜葉町の避難者）は、事故で家族四人はバラバラ

○「事故八年」の福島からの報告（二面）
○中西経団連会長発言 原発めぐる議論拒否の詭弁（三面）
○新潟県の広域避難計画 実効性に大きな課題（五面）
○現地見学
*日時 10月 16日（土）
○全国交流集会
*日時 10月 17日（日）

警鐘

●福島原発事故に對して、安倍政権は加害責任を認めていない。被災者対策、事故収束対策に真摯に向き合わず、原発再稼働、原発輸出の暴走を続けた●その原発再稼働も現実には九基にとどまる。原発輸出は、日立の英国での建設計画凍結決定で日本の原発輸出は総崩れとなった。この現実を、世界でも日本でも「原発ビジネスは通用しない」ことを示す。

それでも、安倍政権はいまなお原発に固執する●安倍政権の無責任さは半端ない。日本の原発開発は廃棄物責任をとらないまま、原子力災害の損害賠償の保障もないうまま「見切り発車」した。これは他の産業では見られない。安倍政権の無責任さは原発開発の当初からの悪伝統に輪をかけたもの●原発固執の亡国の道はこれ以上はご免である。統一地方選、参院選で、安倍自公政権に鉄槌を下す以外にない。